



第12回

かながわ商店街大賞

商店街部門 募集要項

かながわ商店街大賞実行委員会では、神奈川県内の商店街の優れた取組みを表彰し、広く紹介することにより、あらためてより多くの県民・来街者の皆さまに商店街の役割や魅力を知っていただくとともに、他の商店街の活性化の参考としてもらうことで、県内の商店街全体の活性化に寄与することを目的として、毎年、かながわ商店街大賞を実施しています。

ようやく、コロナ禍も落ちつき街もにぎわいを取り戻しつつある中、ウィズコロナやアフターコロナの取組みも含め様々な事業展開に取り組んでいる県内の商店街も増えてきたように思います。

商店街の活力を取り戻し、地域を元気にしようとの思いを胸に、日々、工夫をしながら、精一杯、商店街の活動に取り組んでいる皆さんからのご応募を、心からお待ちしています。

かながわ商店街大賞実行委員会

表彰の種類

大賞	1 団体 副賞 8 万円、楯
優秀賞	2 団体程度 副賞 3 万円、楯
特別賞	2 団体程度 副賞 1 万円、楯

表彰の要件

- ・活性化に向けて、特色ある取組みを意欲的に実施している商店街であること。
なお、取組みには新しい生活様式(※1)・SDG s (特に脱炭素) (※2)・DX (※3)に対応した取組みもあります。
 - ・取組みの結果、賑わい等(コロナ禍にあってもその制約の中で活性化が図られてきたこと)がもたらされている商店街であること。
 - ・実施している取組みの内容が他の商店街の参考となる商店街であること。
- ※1 新しい生活様式とは、感染対策、密集回避等への対策を日常生活に取入れた、生活様式のこと。
※2 SDG s とは、環境や資源を壊さずに今の生活をより良い状態に継続できる 17 の目標。
なお、県では特に二酸化炭素の排出量をゼロにする取組み(脱炭素)を推奨しています。
※3 DXとは、進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。(取組みの事例は次頁参照)

応募

応募書(別紙)に記入の上、郵送または持参してください。
自薦及び他薦いずれも可能。

※過去4年以内に商店街部門の大賞及びこれと類似の国及び県の表彰等を受賞した商店街は選考対象から除外する。

応募締切

令和5年9月29日(金) ※当日消印有効

審査及び表彰

審査委員会による審査を経て12月上旬に決定し、令和6年1月初旬に表彰式を行います。(予定)

問合せ先・応募先

かながわ商店街大賞実行委員会

事務局 公益社団法人商連かながわ

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80

神奈川中小企業センター3階

電話 045-633-5184 F A X 045-633-5185

取組みの事例

- ・ウェブ上でも注文を受け付け、商品は配送でのお届けを選択可能とした。
- ・買い物難民・高齢者などに、商店街でとりまとめ店舗の品を配達している。
- ・商店街ツアーを動画配信した。
- ・密を避けるため、(アプリ等を利用し)商店街を巡るスタンプラリーを実施した。
- ・SNSを利用し、商店街・お店のお得情報、イベント情報などを発信。
- ・商店街、商店街の店舗を紹介する動画を作成し、PRした。
- ・レジ前の飛沫防止シートに地元アーティストが絵を書き店を明るくした。
- ・商店街のキャラクターを使った感染対策グッズを作成し、広くPRした。
- ・商店街のお店で子ども達がお店番を体験。
- ・長年にわたり地域住民が楽しめるイベントを開催している。
- ・商店街で、子ども達が集える場所を提供。(子ども食堂など)
- ・地域の花さくらをモチーフにしたオリジナル商品を商店街で開発販売などをした。
- ・商店街でお年寄りを見守る取組みをした。
- ・行政と連携して商店街の空き店舗を活用。(レンタルスペース・手作り品販売等)
- ・商店街で、家庭に余っている食品を集めて、必要とする人へ譲ることで食品ロスをなくした。
- ・ごみ排出量の削減を目指し、量り売りや小分けでの販売をした。



※記載の取組みは一例です。

商店街で「当たり前」に取り組んでいることが、小さな商店街でも、立地条件に恵まれていない商店街でも、コツコツとやってきたことが表彰の対象になったり、他の商店街の参考になったりすることがあります！

過去の受賞商店街の取組みは

商連かながわホームページ「商店街に行こう！inかながわ」または、
神奈川県のかながわ商店街大賞のホームページをご覧ください。

※応募書のデータはこちらにあります。

商連かながわ

検索

神奈川県 商店街大賞

検索

主催：かながわ商店街大賞実行委員会

神奈川県・公益社団法人商連かながわ・神奈川県商店街振興組合連合会
一般社団法人神奈川県商工会議所連合会・神奈川県商工会連合会
神奈川県中小企業団体中央会・公益財団法人神奈川産業振興センター

後援：神奈川新聞社・tvk

第11回かながわ商店街大賞 受賞者の紹介

大賞：馬車道商店街協同組合／横浜市中区

～地域資源を最大限に生かしながら時代に合った取組も推進～

馬車道は横浜開港以来、外国文化への玄関口として独自の発展を遂げてきた。歴史的建造物もあり、開港当初の面影を色濃く残している商店街。日本における「発祥の地」という歴史や文化などの地域資源を最大限に生かし、「アイスクリーム発祥記念行事」や「ガス灯点灯式」等の様々なイベントを開催している。さらに、QRコードを読み込むと店舗情報が英語で表示される案内板を商店街に設置している等、インバウンド需要を取り込む観光客への対応も積極的に図るなど、社会が変化する中で、その時代にあった取組も進めていることが評価された。今後も地域特性を大事にしつつ、ハード・ソフトの両面から総合的な街づくりを推進していくことが期待できる。

優秀賞：あざみ野商店会協同組合／横浜市青葉区

～認知症の人にやさしい街プロジェクトで安心して暮らせる街づくりを実践～

東急田園都市線・横浜市営地下鉄線あざみ野駅前を中心に広範囲にわたって会員店が立地する商店会。「あざみ野認知症の人にやさしい街プロジェクト」を通じて地域の様々な団体と連携を図り、高齢者の方が住みやすい街づくりを実践している。会員店は「認知症サポーター養成講座」を受講し認知症への理解を深め、認知症の人やその家族の方が来店しやすい環境づくりに努めるとともに、この活動が地域に広まり理解されていくことで、次世代へと繋がる持続可能な街づくりを目指している。その他、あざみ野スクラッチなど会員店の集客や売上に繋がる事業にも取り組んでおり、そうした事業と社会貢献的事業とが総合的に進められている。また広いエリアに会員店がある商店会で、一体性を保って事業を展開していることも評価された。

優秀賞：モトスミ・オズ通り商店街振興組合／川崎市中原区

～SDGsをテーマに個店のPRにもつながる取組を意欲的に展開～

東急東横線元住吉駅東口に広がり、チェーン店と個人店がバランスよく存在している商店街。「オズ・みんなの食堂」は、商店街の会員店が提供するおかずと、自治体から寄贈される賞味期限の迫った備蓄米のご飯を詰め合わせたお弁当を、子ども達やひとり親世帯等に配布することで、社会的課題の解決と併せて会員店の認知度アップも目指している。また当イベント開催の1か月前には、地域家庭に眠っている食材を集めるフードドライブイベントも実施し、集まった食材はお弁当と同時に配布している。商店街への注目度が上がり、会員店舗のPRにもなる取組は、商店街事業への参加や加盟の促進にもつながっている。また役員の世代交代を図り、若手の機動力を活かした連携などにより、SDGsをテーマとした事業に積極的に取り組んでいることが評価された。

特別賞：ひらがな商店街ウェストアベニュー／横浜市中区

～まちラボで地域と商店街をつなぐ魅力あるまちづくり～

JR石川町駅近くの歴史ある施設も立地する古くからの住宅街にあり、近年は個性的な店舗も出店している商店街。町内会、商店街、近隣学校等が連携し、地域とこれらをつなぐ「まちラボ」を立上げて、ボランティア活動の枠組みを作り、イベントや祭事で交流を図りながら、地域の催事の持続を目指している。未来を担う世代との連携も図られ、今後の事業継続の効果が期待が持てる。「こども食育食堂」「おしごと体験」プロジェクトにより、商店が子どもや家庭の地域における居場所になる取組が進められており、商店街や店舗の周知や利用にもつながっている。このような地域とつながりのある独自性の高い活動が評価された。

特別賞：石田商工振興会／伊勢原市

～継続的なイベントや街路灯の広告宣伝看板など商店街の一体感ある取組～

小田急線愛甲石田駅周辺の住宅街にあり、会員店舗が点在している商店街。長年にわたって継続している祭事や様々なイベント等により地元団体とも連携して地域を盛り上げている。また、線路を挟んで店舗が広く点在して立地している商店会ながら、街路灯の看板を商店会の名前から会員店名の広告看板に変更するなどの工夫によって、会員の宣伝を強化し一体的な連帯意識の向上を図っている。その広告看板の展開に独自性があり、会員点在型で街路灯を有する商店街の取組として、モデル的要素が認められると評価された。